

Title	理財学会記事
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1925
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.19, No.3 (1925. 3) ,p.494(178)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19250301-0178

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

遮莫尙マルクスは、彼が未だ自己獨特の餘剩
價值説を展開するに到らなかつた一八四四年既
に資本に依つて招來せられし貧困に關するブル
ドンの學說に對して、更に重要な意義を有す
る新學說を附加した。即ち資本主義は常に貧困
に導くのみならず又其は苦惱せる階級に、ブル
ジョワ社會の瓦解、共產社會の建設を許容し、然
り、必然的に之を強制する所の諸條件を與ふる
事に依つて貧困の廢止に導くものであるとの新
學說を附加した。

而も特にマルクスに依つて透徹明快に披瀝せ
られた此思想こそは實に社會主義思想の極めて
重要な擴張と看做さる可きである。(終り)

◎理財學會記事

理財學會は其例會を二月六日午後二時半より三
田演說館に於て開催す。來聽者多數あり。午後
四時半閉會す。演題及演者左の如し。
修正派社會主義に就て 金原賢之助氏
閉會後萬來舍に於て晚餐會を催す。出席者は金
原、伊藤兩教授並に五十嵐、和田、濱谷、奥村
小林、平野、千脇等の諸幹事なり。

前號 (第十九卷) 目次

(大正十四年二月號)

古典的價值學說と效用概念	高橋誠一郎
チュルゴ一のギルド解散令と水野	
越前守の間屋組合禁止令	瀧本 誠一
七十年代の露西社會思想概観	伊藤 秀一
佛教の興立と商人階級の活動	衣松 圓諦
カール・デイルの資本論に就いて	金原賢之助
阿部秀助先生の學究的生涯	高木 壽一

●一冊定價 金五拾錢
●半年定價 金貳圓九拾錢
●一年定價 金五圓四拾錢
郵稅金壹圓五厘 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十四年三月廿八日印刷納本
大正十四年三月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌 禁轉載
第九十卷 第二號
編輯者 江田 範保
發行所 東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内
印刷者 金子 鐵五郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
金子活版所

發賣元 丸善株式會社三田出張所
東京市芝區三田貳丁目壹番地
電話高輪 一九二六
◎尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會